

文書質問への回答書

受付番号	令和2年第6号
提出議員	高山亨議員（会派：日本共産党長浜市議団）
件名	コロナ禍を受けての今後の教育のあり方について （学習の遅れに対する柔軟な教育活動の展開について、及び少人数授業の推進、教員増の必要性について）
質問内容	国や県に対して、抜本的な教員増や教室の確保のための措置を求めながら、市独自に教員増や支援員・要員増などの措置で、この学校現場における「緊急事態」に、及び今後の充実した教育活動に対応できる施策をとるべきですが、市当局の考えをお伺いします。
回答部局	教育委員会事務局

【回答内容】

市立小、中、義務教育学校での学校再開にあたりましては、文部科学省より示された「学校の新しい生活様式」を踏まえた取り組みを進めており、現時点での、また、今後についての学校運営につきまして、過日の全員協議会においてお伝えをさせていただいたところです。

その中でも、とりわけ新しい生活様式の中で取り組むべき教育活動につきましては、学習の遅れへの対応と3ヶ月の休校を余儀なくされた子どもたちの支援のために、定められた中で可能な限り加配教員を要望するとともに、市費単独の加配措置も含めてすでに配置されている支援員を効果的に活用し、現学級編成の中で充実した授業をしてまいります。また、国の「GIGAスクール構想」を受けて、市内全ての児童生徒にICT機器が使用できる環境が整うよう取り組んでおり、この状況下でのより良い教育活動を展開してまいりたいと考えております。

さらに、今後予想される第2波、第3波の感染拡大も想定し、これらに速やかに対応できるよう体制づくりを進めるとともに、このような取り組みを損ねる風評や、人権に関わる問題が生じないよう、正しい意識と行動の周知にも努めてまいりたいと考えております。